

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース よつばクラブ
第7回 「～オモイをカタチに～ 基地づくり」

実施日時:2019年1月20日(日)

会場:川崎市青少年の家(神奈川県川崎市)

<活動のねらい>

●仲間とひとつのものを作り上げる。
⇒話し合いや思いやりを大切にし、班のみんなで取り組む。アイデアを広げ、想像を形にする。

<プログラムの構成要素>

自然に対する好奇心 ★★★
創意工夫を楽しむ心 ★★★★★
仲間とやってみようとする心 ★★★★★



残念ながら体調不良による欠席者が多く、「〇〇くんはいないの？」と班の仲間を気にする様子がたくさん見られた朝でした。電車の中から基地の作戦タイム。絵に描いたり、作りたいものを書き出したりしながら、想像を膨らませ、笑顔あふれる電車移動となりました。



午前中は、キャンプカウンセラーが考えた『新聞渡りゲーム』です。役割分担をしてスタート! 「はい! はい!」と掛け声が聞こえ、笑顔で頑張っていた子どもたち。「どうしたら早くなるかな! ?」と作戦を立て、どんどん早くなっていく様子も見られました。



ゲームのあとは班の時間です。お昼の時間や基地をつくる場所、それぞれの班で決めて動き、基地づくりが始まりました。「こんなの見つけたよ！」「これ使いたい！」と板や長い枝、丸太などを見つけ、気付けば班の周りには資材となる自然物がたくさん集まっていました。



資材が集まり、「これでドアにしよう！」「丸太を重ねて壁にもなるんじゃない？」と子ども同士の会話が広がり、作っていく中でどんどんアイデアが出てきました。夢中で作り、最後には立派な基地が完成しました。



1人で作るのではなく、きちんと班の仲間に相談し作っていたり、大変そうな様子を見つけると「手伝うよ！」と率先して助けたりする場面がたくさん見受けられました。“班”での会話や行動がますます増え、子どもたち同士の仲はより深まっていったように感じます。「おれらの基地、素敵だな！」「いい気分！」と話しているその表情はとても誇らしそうでした。最後の8キロチャレンジハイクも、仲間と最高の時間を作ってほしいと思います。